

東日本大震災



新型コロナ

ウイルス

企画展

受け継がれる伝統のチカラ

相馬野馬追

2021年7月3日(土) - 9月12日(日) 南相馬市博物館

開館時間：午前9時 - 午後4時45分

(最終入館 午後4時まで)

休館日 毎週月曜日 ※7月26日(月)・8月9日(月)は開館



太平洋戦争



飢饉



観覧料：一般 400(350)円 高校生 200(150)円
小中学生 100(80)円 (20人以上の団体)

※南相馬市と飯館村に居住・通学する小中高校生は無料。障がい者の方と付き添いの方1名、生活保護世帯の方は無料(入館の際に手帳等をご提示ください)。

※8月21日(土)・22日(日)は「福島県民の日」記念で無料。

写真提供：大槻明生氏「黙とうする武者たち」、佐藤浩章氏「ひび割れた道を進む騎馬武者」

明治維新

野馬追とは何か その伝承の歴史

飢饉 明治維新
太平洋戦争 そして…
東日本大震災 新型コロナウイルス

国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」は、ここ10年間に2度の開催危機に見舞われました。平成23年(2011)の東日本大震災と、令和2年(2020)の新型コロナウイルスの感染拡大です。いずれも規模を縮小するなどして伝統を継承することができましたが、こうした困難な状況下で再注目されたのが、「相馬地方の繁栄と安寧を祈願する」という、野馬追の根本的意義でした。

飢饉、明治維新、太平洋戦争、コロナ禍といった困難な時代にあって、それぞれ工夫を凝らしながら、野馬追を継承してきたその歴史を、東日本大震災から10年目を迎えた今年、震災以降の野馬追の復興のあゆみを中心にふり返ります。野馬追とは何か、あらためてその価値を確認いただきたいと思います。

五月廿二日野馬追の旨は河大系且まをこたは
河名代河一系甲冒中目ノト軍者兼騎馬相成
分出後河津津河及我河津人ノ十人法
騎馬相成る事也小言、小人五人七出上
野馬追の庭を式一を了り、代は其法
兼多々題而行す、其法は、代は其法
勿論法人は一切の法

天保の飢饉で内容を省略した野馬追の記録
『相馬藩御経略略記』(当館蔵) 天保5年(1834)5月の条

2011年 東日本大震災



祭場地に掲げられた横断幕 (2011.7.24)



会場を変更して行われた「上げ野馬」神事 (2011.7.25)

2012年～ 震災からの復活を目指して



雲雀ヶ原祭場地の表土入れ替え (2012.5.29)



稲の代わりにヒマワリを植えた田の道をすずむ (2012.7.28)

2020年 新型コロナウイルス



検温して神事に臨む (2020.7.27)



「上げ野馬」神事で奉納された神馬 (2020.7.27)

南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194
TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933
E-Mail : hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp
<https://www.city.minamisoma.lg.jp>



作付けされなかった田の道をすずむ騎馬武者 (2011.7.23) 佐藤浩章氏撮影



新型コロナウイルス感染症にかかるお願い

当日体調に不安がある場合はご来館をご遠慮ください。ご来館の際はマスク着用と他のお客様との距離の確保にご協力をお願いします。混雑時には入場を待機いただく場合がございます。